

いち
わたしの一押し

いつでも省エネ “待機電力①”



16

■ 節電タップを活用しよう！ ■

楽しく待機電力を減らす工夫

電源プラグを挿しっぱなしにしておくだけで、電気代がかかる場合があることをご存じですか？

機器類の内蔵時計、リモコンからの受信など、電源ボタンを切った後でも、電気は使われています。こうした待機電力は、家庭で消費される電力の5～6%を占めると言われています。壁や床のコンセントから電源プラグを抜けば電気代はかかりませんが、頻繁な抜き差しは面倒で、プラグの故障につながります。

そんな時に便利なのがON/OFF電源切り替えスイッチがついた節電タップ。一括スイッチ付き、コンセントに直挿しタイプ、コード付きと、実に多様なものが販売されています。例えば、パソコンを使う時にプリンターも一緒に使うのであれば、一括スイッチ付きが便利です。消費電力モニターが付いたものもあります。なお、使用するたびに、プラグを抜きたい場合は、楽に抜けて、プラグへの負担が少ないレバー付きプラグアダプターがおすすめです。家中の電源プラグの総点検したら、ちょっぴり爽快な気分になりました。 (FG)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で
確認してみましょう

